

区政会議でのご意見を 区政に反映していきます！

鶴見区では、だれもが「住んでよかった」と笑顔で言えるまちの実現にむけて、区政会議でいただいたご意見を区政に反映できるよう努めています。



平成28年度区政会議でのご意見

28年度中に対応予定のご意見

区政会議でのご意見	対応
<p>種花活動のボランティアメンバーを増やす努力と合わせて、活動を活性化させるため、育てた花がどこに配付され、どのようにまちを飾っているのかが分かるように工夫する必要がある。</p>	<p>種花活動の拠点を増やすことでボランティアの方々が活動しやすい環境づくりを行うとともに、種花活動ボランティアの方々の意見を反映させながら、育てた花の配付先等について関係部局との調整や広報での周知を行います。</p>
<p>地域の公園等で、地域の皆さんと子どもたちが一緒になって、種花活動で育てた花を植えて育てる機会を拡充してはどうか。</p>	<p>地域の子どもたちが、地域の種花活動ボランティアと交流しながら、花を植える取組みが広がるよう、ボランティアの方々のご意見をお聞きし、植え込み場所については施設管理者等と調整を行います。</p>
<p>地域運営の支援について、地域ごとにアンケートの結果を集計し、地域別に必要な支援のプランを立てていく必要があるのではないか。</p>	<p>アンケート結果や意見を聞きながら、地域に応じた支援等を継続します。</p>
<p>公金の使途を区HPだけでなく、地域もそれぞれに公表する必要があるのではないか。</p>	<p>公表を義務付けられているNPO法人以外の地域に対しても、会計の透明性確保の観点からHP等で公表するよう働きかけていきます。</p>
<p>鶴見緑地を活用して老若男女が参加できるような行事を開催すれば、話題提供や交流ができる。引きこもりがちな人達が地域活動に接する機会にもなるのではないか。</p>	<p>区役所では、鶴見緑地を活用し、区民まつりやワールドフェスタなど、様々なイベントを実施してきました。今年度は、地域が主体となった「チャリティ盆踊り」が開催され、多くの世代の参加がありました。引き続き鶴見緑地を活用したイベントを実施するとともに、各地域が広報紙をはじめ様々な広報媒体を活用して情報発信を行い、各世代が地域活動に接する機会を推進できるよう支援を行います。</p>

区政会議での意見	対応
<p>「地域に関わりたいが何をしたらいいのか、どこに聞いたらいいのか分からない」という意見をよく耳にするので、活動したい人と地域をつなぐ「マッチングサイト」のようなものを検討してみてもいいのではないかと。</p>	<p>魅力ある地域情報等を手軽に見られるよう、各地域活動協議会において、紙媒体(広報紙・チラシ等)だけでなく、電子媒体(HP・フェイスブック)も活用した情報発信が行えるような広報支援を行うとともに、区のHPにおいても、各地域活動協議会や各種団体の紹介を掲載します。</p>
<p>「2025年問題」対策には地域福祉の変革が必要なことから、地域活動支援課だけでなく、保健福祉課、子育て関係、区社協やまちづくりセンターなどが入ったチームを区長直轄で設置して、横断的な地域支援を行ってほしい。</p>	<p>平成29年度、地域活動支援施策と健康福祉施策との連携を強化し、よりきめ細やかな対応を行うため、「地域健康福祉戦略会議(仮称)」を、区長直轄のもと設置します。平成28年11月中に詳細を決定し、年度内に準備会を立ち上げます。</p>
<p>鶴見区について若者の意見を聞ける場を設けてはどうか。</p>	<p>鶴見区について若者と意見交換を行う場として、高校生会議(区内3高校参加)を開催するとともに、若者の意見や考え方等を聞ける場として、成人の日記念のつどいに区政会議委員の席を設けます。</p>
<p>入りやすい状況の保育園の情報の公開や、人気の高い保育園へ寄せられているニーズを分析して保育要求を分散させる等、区民に見える形で動いていく必要があると思う。</p>	<p>10月の一斉入所申込みにかかる募集数及び申込数のほか、毎月の途中入所可能人数を各区HPで公表しています。これを受けての希望保育施設の変更や選択が行いやすくなると考えています。また、鶴見区保育施設一覧を区HPに掲載していますが、各保育施設の公式HPにリンクする等、各保育施設にアクセスしやすいページにリニューアルします。</p>

区政会議でのご意見	対応
毎月第2金曜日に行っている「区内一斉防犯活動」について、毎回同じメンバーが地域を回っているだけになっていないか。	各地域の防犯推進委員との会議を開催し、意見交換を行って、今後の取組みについて検討します。
区民からのアンケートの取り方と業績目標の評価の方法を再考し、単に区が行う事業の認知度を測るのではなく、具体的な取組みに反映する工夫が必要ではないか。	アンケートの質問内容を工夫し、具体的な取組みに反映していきます。
実際の災害時に大きな力となる中学生に、地域の防災訓練に参加してもらうなど、現役世代や次世代に力点を移していくことが大事ではないか。	区役所では、昨年度、兵庫県広域防災センターにて他県の取組みを学び、本年度は被災地熊本県で避難所運営に携わるなど、防災力の向上に努めています。知り得た情報については、各地域の防災訓練など、様々な機会を捉えて情報提供を行っていきます。
各地域で取組んでいる防災訓練について、参加者が同じ人ばかりにならないよう、幅広くひとりでも多く参加できるように考えてほしい。	各地域ごとに様々な取組が進んできており、他地域の取組みについての情報提供を、訓練打合せの際などに行い、より多くの人に参加していただけるような実施内容となるよう、一緒に取り組んでいきます。
交通安全対策について、高齢者・園児に対し取り組んでいるが、現役世代へのアプローチがないのではないか。	スクエアード・ストレート方式の交通安全教室を安全・安心フェスタで実施することで、幅広い世代に対し、啓発を行いました。今後とも、警察署と連携し、交通マナーの効果的な啓発に取り組んでいきます。
地域でなかなかできない、三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)や福祉事業所との連携を進めてほしい。	医師会や社会福祉施設連絡会とは、以前より連携し訓練や研修を行っていますが、より実践的な連携が行えるよう取り組んでいきます。

区政会議での意見	対応
<p>高齢者や障がい者への理解の啓発にかかる講演会等の開催について、開始時間をバスの時間に合わせてもらえないか。</p>	<p>講演会等の開始時間については、講師との調整や会場の借り上げ時間の関係等も含めて検討します。</p>
<p>地域有償ボランティア事業について、募集を含めた周知については、広報紙以外の有効な手立てはないのか。</p>	<p>募集を含めた周知については、広報紙等も重要であるが、事業名称等がはいったウェアの作製など、目に見える周知も工夫します。</p>
<p>要援護者見守りネットワーク強化事業について、27年度は「高齢者」を対象とした同意確認を行ったが、特に孤立世帯の人たちの同意をどのような形でとって、どうフォローしていくのか。</p>	<p>区役所で要援護者のリストを整理し、区社協より同意確認を行っています。同意を得た要援護者については、地域に情報を提供し、普段の見守り活動に活用しています。</p> <p>また、孤立世帯等については、必要に応じて見守り支援ネットワークが対応していきます。</p> <p>今後も区役所と区社協とが連携し、地域での見守り手法などについて、支援を行っていきます。</p>
<p>障がいのある方々が地域活動に参加される場面や発表できる場をもっと増やせないか。</p>	<p>昨年度から実施している「つながろうふれあいフェスタ」では、公募も含めて舞台出演者を募集してきました。</p> <p>今後も、活動の場やつながりづくりに向け、区役所や地域等が開催する様々なイベントへの参加を促していきます。</p>
<p>以前に比べて区役所職員と街中で出会うことが少なく、区役所へ来た時やイベントの時にしか会わないが、以前のように区役所職員が各家庭に戸別訪問できるような体制をつくって欲しい。</p>	<p>区役所職員と地域の方々が顔の見える関係を作ることには大切であり、少しでも多く、区民の方々と関わられるよう努めていきます。</p>

区政会議でのご意見	対応
健康づくりの取組みについて、地域が自分たちでやっていくための支援づくりも大切である一方、地域によっては指導者が高齢化しているため地域だけではできないところもある。	地域別アンケート集計によって出される課題等を整理し、地域の意見を聞きながら必要な支援を実施していきます。
食育の活動や普及啓発を、身近な地域の施設を利用して行いたい。	食育活動の普及啓発をすすめるため、各地域の情報を収集し、啓発を実施する場所として身近な施設が利用できるよう地域団体や関係団体と協力して推進します。
個人情報流出事故について、達成は難しくても目標は高く設定しておく必要があるのではないか。	個人情報流出事故はあってはならないものであり、今後も事故防止のために定めている「重要管理ポイント」の遵守に努め、発生件数0件をめざします。
窓口の待ち時間の活用として、転入届出時において、各地域の案内ができればいいのではないかと。	現在は、各地域の広報誌を待合スペースに掲示し、待ち時間の合間等、来庁者にご覧いただいています。今後は、区政情報をお知らせするため、転入届時にお渡しする「転入セット」に、地域活動協議会を紹介するチラシも新たに入れることにより、更なる地域情報の提供に取り組めます。
鶴見区のことはこの人に聞けばいいというような、エキスパートな存在の職員がいればいいのではないかと。	職員が区のさまざまな情報について学べる機会や情報について積極的に提供します。また、平成29年度に実施予定の「つる魅力検定(仮称)」に職員も積極的に参加することにより、鶴見区のエキスパートとなる職員の人材育成に努めます。
防犯以外の情報に関しても、青色防犯パトロール車等を活用した区政情報発信を行ってはどうかと。	青色防犯パトロール車や公用車の車体や音声アナウンスを活用した広報紙「広報つるみ」のPR等、区政情報の発信を行います。

平成28年度区政会議でのご意見

29年度事業で対応予定のご意見

区政会議でのご意見	対応
(仮)鶴見区検定の実施について、小学校(高学年)がチャレンジできるような内容となるといいのではないか。	検定の実施により、鶴見区の魅力の発信や区に愛着を抱いていただけるよう、受検の対象者や出題内容等の検定実施方法を検討します。
防犯カメラの設置が進められてきているが、より効果的な設置を検討してはどうか。	防犯カメラの設置については地域要望も高いため、カメラ設置と組み合わせて、より街頭犯罪抑止効果が上がるよう、“防犯カメラ作動中”のプレートを取付けます。
防犯活動について、のぼりや横断幕などを活用し、区をあげて取り組んでいることをアピールしてはどうか。	区役所正面前の照明柱を利用したバナーの掲出など、効果的なアピール方法を検討します。
「つるみんピック」について、消防署との連携の中で競技種目を洗練化・定型化させ、地域防災リーダーだけでなく、地域の訓練でも活用できるようにすそ野を広げてほしい。	今後も消防署と連携し、一般参加の検討など開催内容を工夫していきます。
地域が防災の取組みを行う際に、講師の紹介など区として情報提供できるようにしてほしい。	防災に適した講師に関する情報収集に努め、地域に提供していきます。
地域防災リーダーの情報伝達手段として、精度のよい防災用トランシーバーの配備を考えて欲しい。	必要な資機材であると考えられるため、配備に向けた検討を進めます。
「広報つるみ」に、安全・安心掲示板のようなページをつくり、1年間を通じて区役所、警察、消防と協力し、時期にあった啓発活動を行ったらいいいのではないか。	警察署・消防署と連携し、広報紙に毎号 区の安全・安心に関するコーナーを設け、情報を発信します。